

令和2年4月30日

生徒の皆さん
保護者の皆様

県立瀬谷高等学校長

全国高校総体の中止について

日頃から本校の教育活動等にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、全国高等学校体育連盟は4月26日に会見を行い、国内の新型コロナウイルスの感染者が1万人を大きく超え収束には相当な時間がかかると言われていること、競技中や移動や宿泊などによる感染リスクが大きく選手をはじめ大会関係者の安全を確保することが難しいこと、学校の臨時休業で十分な練習時間を確保するのが困難であることなどを理由に、この夏に開かれることになっていました全国高校総合体育大会（インターハイ）の開催を中止することを発表しました。

このことを受け5～6月に開催予定であった体育系の部活動の多くの公式戦が中止となります。また、夏の全国高校野球については、日本高校野球連盟が5月20日の運営委員会で開催の是非を審議することとしています。

3月～4月に行われる予定であった公式戦等が中止となり、夏に気持ちを切り替えて準備を進めていた3年生には“最後の夏”を体験させてあげられない厳しい状況になりました。それだけでなく、部の中心となって活躍しようとして頑張っていた2年生、高校に入学し新たな気持ちで部活動に打ち込もうと考えていた1年生にも大変残念な状況になりました。

私たち教師は、生徒に折に触れ「夢は何ですか?」、「目標はありますか?」と問うことをします。それは、活動の意欲を高めるためには、一番の力となるものだからです。長い期間力を出し続けられ、大変なことにも耐え、乗り越えていく力を生み出してくれるものだからです。一人ひとりの皆さんが夢や目標を持ってくれれば、私たち教師は見守るだけで良いかも知れません。

部活動で頑張っている、頑張ろうとする皆さんに、その大切な夢や目標を失わせてしまうこの現実をどう話をすれば良いのかすぐには答えが出せません。皆さんとともに地道な練習・研さんを積み上げてきた顧問の先生方も苦悩されていることと思います。

今言えることは多くはありません。しかし、一つ言えることは、当面の目標はなく

なってしまったけれど、皆さんが積み重ねてきた、積み重ねようとした努力は、皆さんの体力、競技力として蓄積します。そして、何にも負けない気持ちを育て、仲間と苦しみを乗り越える心の繋がりを生み出してくれていると確信しています。

高校総体の中止という困難に負けない生徒であって欲しいと願っています。すぐには気持ちの切り替えがつかないかもしれません。特に3年生の皆さんは、1日も早く次の目標に向き合えるよう、気持ちを整理し、次への考え方の糸口を掴んでほしいと思います。そのためには、言葉が重要な要素となります。部活動の仲間や先輩、そして顧問、担任の先生と大切な話をしてください。そして、瀬谷高生として輝く目を持った姿を見せてください。

また、高校総体にかかわる体育系の部活動だけでなく、文科系の部活動や校外で自主的に活動している皆さんが目標としている大会等の例年通りの開催が危ぶまれています。体育系の部活動に関わる生徒の皆さんだけでなく、校内外を問わず自主的な活動に積極的に取り組む皆さんに、是非前向きな気持ちを持って困難に立ち向かってもらいたいと思っています。

新型コロナウイルス禍は依然として猛威をふるい、学校再開そして部活動再開はいまだにハッキリしません。しかしながら、この状態もいつかは終わります。皆さんは、その日がやってきたら思いっきり部活動に打ち込めることができるよう、規則正しい毎日を過ごしてください。先日、瀬谷高校のホームページに部活動紹介を載せました。1学年の皆さんは、是非閲覧し、自分の輝ける場所を見つけてください。

最後となりますが、保護者の皆さんも、お子様がこの困難を乗り越え、大きく成長するよう見守っていただければ幸いです。

問合せ先
副校長 榊原
電話 (045) 301-6747(代)